発行月／令和６年 10 月

第91号

なでしこ通信

●在宅介護・医療サービスの種類
●低栄養の新しい診断基準 ～GLIM基準～
●なでしこプラン「ブラジル人学校における学校健診」
●5年振りの「伊勢ノ海部屋力士の慰問」
●余暇ボランティアプロジェクト「歌を聴いて一緒に歌おう♪」を開催しました
●なでしこCafeをオープンしました
●第43回済生会近畿ブロック親善ソフトボール大会のご報告
●元気に退院しました
●新人紹介

題名：錦秋に飛来　撮影者：長嶋正實名誉院長

愛知県済生会リハビリテーション病院の基本理念

済生会設立の精神である「恵まれない人々を助ける」を基にして、リハビリテーションを通して、保健・医療・福祉及び介護のサービスを総合的に提供します。

愛知県済生会リハビリテーション病院の基本方針

1　人間性を尊重した、心の通った、質の高いリハビリテーションを提供し、患者さんの自立への支援を行います。
2　生活相談や健康相談を通して、医療を受けることが困難な人々の健康づくりのお手伝いをします。
3　職員の一人ひとりが自己研鑽に励み、知識と技術の向上に努めると共に、明るく働きやすい職場づくりに努めます。

～無料低額診療事業のご案内～

当院では病気やけがにより生活困難をきたす恐れがある方や経済的理由により必要な医療をうけることが困難な方に対して社会福祉法に基づいて無料低額診療事業を行っています。
申請を希望される方は地域連携室までご相談ください。

「医療福祉・地域連携室」　TEL 052-571-5253（ダイヤルイン）

募集　あなたの作品を「なでしこ通信」の表紙にしませんか？詳細は当院総務課までお問い合わせください。**沢山ご応募お待ちしております！**

当院のホームページには過去のなでしこ通信も掲載されていますので、ご覧ください。

在宅介護・医療サービスの種類

加齢に伴って介護が必要になったときに利用する介護保険制度。よく耳にはするけれども実際どんなサービスが受けられるかご存知ですか？今回は自宅で受けられるサービス内容についてご紹介します。

訪問介護（ヘルパー）

ホームヘルパーなどが訪問し、入浴や排泄の手伝いなど身体的なケアや買い物や掃除など家事の手伝いを受けられます。連続した長時間の利用はできません。

訪問入浴介護

介護職員、看護師が訪問し、事業者が持参した浴槽で入浴介護を受けられます。自宅の浴槽で入浴できない人や外出が難しい人が利用することが多いです。

医療保険
訪問診療等

通院が難しい方に対して、診療所から医師が訪問します。介護保険制度に関わらず依頼できます。

訪問看護

看護師が訪問し、療養上の世話を受けられます。

訪問リハビリテーション

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が訪問し、自宅や自宅周辺でリハビリを受けられます。

配食サービス

安否確認を兼ねて自宅で弁当を受け取ります。飲み込みの力に合わせて食形態が選べます。

通所介護（デイサービス）

介護施設へ出かけ、食事や入浴などの支援や機能訓練を受けられます。自宅まで事業者の車で送迎されます。最近は理学療法士などが在籍している運動型の事業所もあります。

通所リハビリテーション

介護老人保健施設や病院、診療所などで食事や入浴などの支援、機能訓練およびリハビリテーションを受けられます。

短期入所生活介護（ショートステイ）

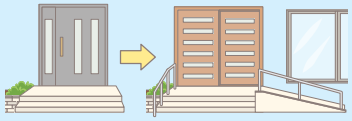
介護施設に短期間入所します。ご家族が自宅を不在にする際や介護疲れを軽減する際に利用する方が多いです。

福祉用具貸与 特定福祉用具販売

車椅子や介護ベッドなどの福祉用具を借りたり、浴室用品や排泄道具を購入する際に費用の補助が受けられます。工事不要の手すりやスロープなども借りることができます。

住宅改修

手すりの取り付けや段差解消などの改修をした際に改修費の補助が受けられます。



小規模多機能型居宅介護

ヘルパー、デイサービス、ショートステイを一つの事業所で利用することができます。通常のデイサービスより利用時間を長く設定できるなど、組み合わせ次第で柔軟なサービス対応が受けられます。

認定を受けた介護度によって利用できるサービスの条件は異なります。
介護保険制度に関するご相談は各地域の区役所や地域包括支援センターへ、入院中の方は担当医療ソーシャルワーカーまでお問い合わせください。

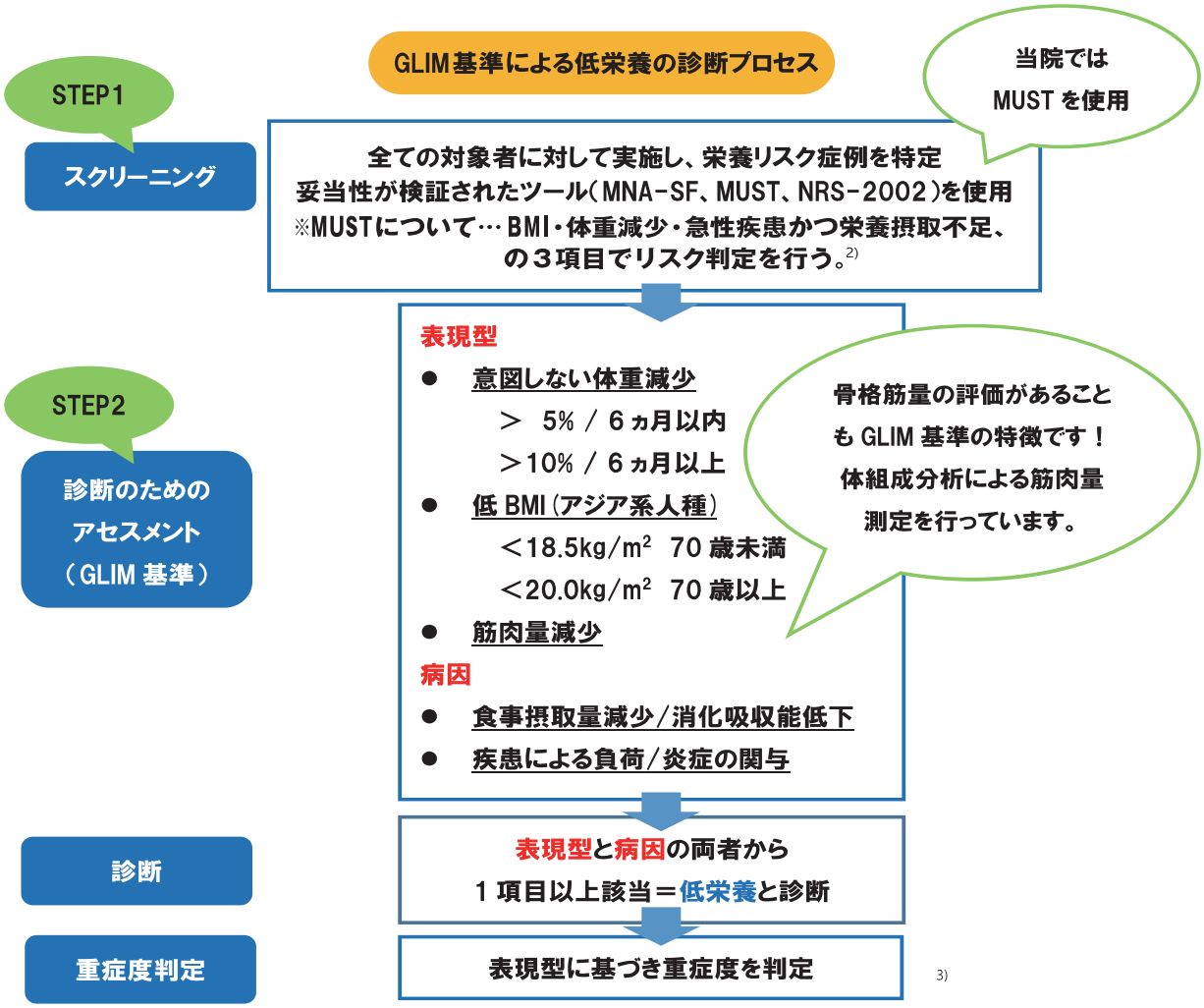
医療福祉・地域連携室　医療ソーシャルワーカー　伴能　風薫

低栄養の新しい診断基準　～GLIM基準～

（GLIMとは Global Leadership Initiative on Malnutrition の略）

世界の主要な臨床栄養学会が協力して提唱した、新しい成人の低栄養診断基準です。従来の食物摂取不足による低栄養に加え、医療施設における疾患関連性低栄養も考慮されており、「世界の共通言語」となることが期待されています。[1)]

はじめに全ての対象者に対して栄養スクリーニングを行い、次に栄養リスク症例に GLIM 基準を当てはめて診断するという 2 段階方式が採用されており、このプロセスを全ての患者に漏れなく行うことが適切な栄養管理体制を実現するために不可欠です。



令和 6 年度診療報酬改定では、回復期リハビリテーション病棟 1 において、入退院時の栄養状態の評価に GLIM 基準を用いることが必須となりました。他部署の協力を得て、当院では 6 月から導入しています。さらに理解を深め、低栄養患者さんへの栄養サポートに取り組んでいきます。

栄養管理科　管理栄養士　坂口　はるか

参考資料

1) 日本栄養治療学会 HP(GLIM 基準) より引用
2) ニュートリー株式会社　栄養状態の評価より引用
3) 西岡　心大　2024 年度　診療報酬改定関連 GLIM 基準研修会
回復期リハビリテーション病棟協会栄養委員会

なでしこプラン「ブラジル人学校における学校健診」

ブラジル人学校は「学校保健安全法」の適用にならず、学校健診は義務付けられていません。子どもたちが健診を受ける機会がなく、豊田市にあるイーエーエス校は 2019 年から当院が関わり健康診断を行っております。

長嶋医師　診察

当院の医師・看護師・理学療法士・検査技師・放射線技師・相談員・事務員の多職種で協力し、生徒198 名に対し、身長・体重・血液・尿・視力検査を 2 日間に分けて行いました。また今回の健診より愛知学院大学短期大学の歯科医師による歯科健診も実施しました。

健診結果を踏まえ、医師による内科健診を 9 月 13 日に実施しました。

健診では、児童生徒が気になる事やわからないことなど通訳者を通して医師に質問している姿が見受けられ、健康に関心をもっているようにも感じられました。

また、今回は健診前に学校との打ち合わせが出来、昨年に比べ協力的でスムーズな健診が出来ました。学校の先生にもっと児童生徒の健康に関心をもっていただけるように関わっていけたらと思います。

田内医師　診察

今後も引き続き双方で様々な交流を図りながら、関係各所と連携をとり、みなさんに健康な生活を送っていただけるような事業に取り組んでいきたいと考えています。

医療福祉・地域連携室　主事　渡邊　祐実

身長・体重測定

血圧測定

視力検査

◆◆ 5年振りの「伊勢ノ海部屋力士の慰問」 ◆◆

毎年、初夏の恒例行事であった「伊勢ノ海部屋力士 当院の患者さんへの慰問」ですが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2019年7月1日の慰問を最後に開催を自粛しておりました。

昨年（2023年）に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類感染症へと移行されたことに伴って、2024年7月9日、5年振りに「伊勢ノ海部屋力士の慰問」を開催することができました。2024年7月14日に開催される大相撲名古屋場所を前に、錦木（にしきぎ）関、鬨王（ときおう）さん、浅坂（あささか）マネージャーに来院して頂き、患者さん・職員一同　大きな歓声と拍手でお迎えしました。

サインを頂いた患者さん

錦木関と鬨王さんには、名古屋場所に懸ける思いをお伺いし、ミニトークでは名古屋3択クイズを行いました。クイズでは、1問1ポイント制で錦木関と鬨王さんとの勝負。「名古屋弁で〝お茶ちんちん〟、〝ときんときん〟、〝机をつる〟、〝けった〟とはなにか」という名古屋にちなんだ出題で、お二方共に譲らず接戦でした。最終問題では、逆転も可能な3ポイント制にし、なんと、鬨王さんの勝利!!集まった患者さんは笑顔いっぱいで大盛り上がりでした。

力士の二人には、1階リハビリ室と各病棟に足を運んでいただき、リハビリに励む患者さん一人一人に声を掛けていただきました。入院されている患者さんは、間近で見る力士の体の大きさに驚きながら、一緒に写真を撮影したり、握手したりと、力士とのふれあいにとても喜んでいらっしゃるご様子でした。

患者さんを激励する鬨王さん

7月11日　中日新聞朝刊　名古屋市民版ページに、〝錦木関に花束を贈呈した加藤茂雄さん（84）は、「励ましてもらったことでリハビリを頑張れる。名古屋場所では優勝を目指して」とエールを送った。〟と掲載されております。患者さん皆さんに喜んでいただき、とても良い時間を過ごすことができました。

また来年もお越しいただけることを職員一同、心よりお待ちしております。

総務課　主事　熊本　佳奈

病棟訪問し激励する錦木関、鬨王さん

花束贈呈

余暇ボランティアプロジェクト「歌を聴いて一緒に歌おう♪」を開催しました

8月20日、21日に各病棟の食堂で、ボランティア団体「カリヨンの会」が歌・紙芝居を披露して下さいました。

当日は、華やかな衣装に身を包んだ、カリヨンの会の会長を務める渡辺さんの歌から始まり、「安寿と厨子王」の紙芝居、懐かしの名曲をみんなで歌うコーナー、締めは歌手デビューもされているという渡辺さんのオリジナル曲、という構成で、約一時間の催しとなりました。

参加された患者さんたちは、じっと聴き入っていたり、手を叩いたり、一緒に歌ったり。

普段、食堂でうたたねしてしまうことがある患者さんも、この日はしっかり目を開けて参加してくれていたのが印象的でした。懐かしの名曲を歌うコーナーでは、マイクを持って楽しそうに歌う患者さんもいらっしゃったのが嬉しかったです。病院に入院している、という状況は退院するまで変えることは出来ませんが、この催しが多少なりとも気分転換になり、楽しい時間になったのではないでしょうか。

今回来てくださった「カリヨンの会」は、西区に拠点があるボランティア団体で、老人ホームなどの施設で活動経験のある会です。一日に２公演（２病棟）、それを二日連続という、ややハードなスケジュールでしたが、両日とも最後まで笑顔で活動をして下さいました。今後も定期的に当院での活動をお願いできたらと思っています。

～余暇ボランティア導入委員会について～

入院している患者さんの生活の気分を変える『楽しいこと』を増やしたい！ということで、この春に発足しました。主にボランティアさんに依頼するというスタイルで今後も活動を続けます。次の企画をご期待ください！

神経内科　第二部長　沖　祐美子

鳥海さんの紙芝居

熱唱する渡辺さん

なでしこCaféをオープンしました

毎日リハビリを頑張っている患者さんに、入院生活の中で少しでも楽しみが出来ればと思い、第二回なでしこ Café を 9 月 11 日にオープンしました。

摂食嚥下支援チームと協力し、飲み物はアイスコーヒー、アイス抹茶オレ、カルピスウォーター、ファンタオレンジ、冷菓はゼリー、水羊羹などを準備し、リハビリ後、患者さんに飲みたい飲み物と冷菓を選んでもらいました。「3 か月ぶりにコーヒーを飲んだ」「糖尿病があっても少しだけれど甘いものが食べられてうれしかった」「これを楽しみにしていた」「毎日やってもらいたい」失語の人が一生懸命「よ・・ようかん！」と話してくれ、嚥下障害の方が「とろみをつけることで数か月ぶりにコーヒーを飲めた」など皆さんとてもうれしそうに参加していただきました。なかには、普段部屋から出てこられない方も参加し、楽しそうにしていたのをみて職員もうれしく思いました。

この地域では朝は喫茶店でコーヒーを飲むことを日課にされている方も多いためか、コーヒーを選ばれる方が多く、中には「ホットコーヒーにして」という注文もありました。うれしそうに、飲み物や冷菓を食べる患者さんの笑顔を見て、今後の入院生活に良い影響があることを期待しています。

前回から 9 か月ぶりの開催でしたが、今後は定期的に開催できるようしていきます。次回のなでしこ Café は 12 月に開催予定です。温かい飲み物を準備し、お待ちしております。

レクリエーション委員会　医療福祉・地域連携室統括　吉見　志保

なでしこカフェ メニュー

第43回済生会近畿ブロック親善ソフトボール大会のご報告

７月 14 日、６月９日に行われたトーナメントを勝ち抜いた愛知・三重・奈良・大阪の代表４チームが大阪府泉南郡岬町の多目的公園いきいきパークみさきに集まり、第 43 回済生会近畿ブロック親善ソフトボール大会の決勝戦が行われました。

雨天のため １ヶ月以上の延期となったため、参加できない選手も出てくる等の問題が発生し、選手が多くない愛知県支部のソフトボール部は苦戦が予想されました。

準決勝の相手は奈良県でした。奈良県は試合前のノックから選手全員の守備力が高いことがわかり、試合開始前からロースコアの展開が予想されました。

交代を指示する監督

試合開始後、先攻の愛知県が早速１番宮田と浅野先生で１アウト２塁のチャンスを作りましたが、後続は凡退し、初回は無得点に終わりました。２回も中濱のレフト前ヒット・鳥田の送りバントで２アウト２塁のチャンスを作りましたが、得点することはできませんでした。２回裏の奈良県の攻撃は、５番打者が出塁すると、盗塁と内野ゴロで１アウト３塁までチャンスを拡大しました。次の打者のピッチャーゴロの際の １ 塁への送球の間に３塁ランナーはスタートし、本塁でタッチプレイとなるも判定はセーフとなり、先制点は奈良県に入りました。その後、４回裏にも得点を許してしまいました。

愛知県チームの打線は、独特な間合いで速球を投げ込む相手投手に苦戦し、３回以降もスコアに０を重ね、力及ばず 0-2 でゲームセットとなりました。

愛知県は３位決定戦に進むことになり、対戦相手は、三重県でした。

愛知県は１回裏、太田・久米でチャンスを作り、５番髙橋のタイムリーで幸先よく１点を先制しました。その後、三重県が７番打者のソロホームランで同点にすると、愛知県は ３ 回裏に再度勝ち越し点を奪いましたが、三重県もバントヒットで同点に追いつくといった一進一退の展開となりました。

サヨナラホームランを喜ぶ選手達

４回表、三重県は１アウト満塁での４番打者に打順が回ってきました。マウンドのエース鳥田は足をつっている中でも気迫のピッチングを披露し、チェンジアップとライズボールを駆使して三振を奪い、試合会場はこの日一番の盛り上がりを見せました。後続も打ち取り、無失点に抑えると、５回裏の先頭・宮田がレフトオーバーのサヨナラホームランを放ち、3-2 で愛知が勝利しました。

前回大会４位という成績に終わった愛知県は、今大会３位となり、１つ順位を上げた結果となりました。

３位決定後の集合写真

運営に携われた皆様、応援してくださった皆様、ご協力・ご支援をいただき本当にありがとうございました。ソフトボール部は目標とする優勝には届きませんでしたが、来年の愛知開催の大会に向け、一同努力して参りますので、応援やご協力の程をよろしくお願いいたします。

総務課　主事　伊藤　亮